

4月25日(月)

ルカ，彼を信じなさい

聖書朗読 ルカ 22：7～20

しかし、わたしは、あなたの信仰がなくならないように、あなたのために祈りました。
ルカ 22：32

ウィリアム・ラムジーは新約聖書の信頼性に異論を持つテュービンゲンの学校 (F. C. バウアーにより設立) で学びましたが、後にラムジーは彼が受けた教育が間違っていたことを知りました。1880年、ラムジーはオックスフォードからの奨学金でギリシャに行きそこでの研究を行いました。彼の当初の目的は、使徒の働きはルカの創作であることを証明することでした。ラムジーはまずパウロが訪れたギリシャそしてトルコの町全てを周りました。彼は使徒の働き、そして聖書の史実性を信じている人たちの元を訪れました。ラムジーの信仰は確固たるものになりました。

聖書の史実性を批判する人々は往々にしてルカを持ち出します。というのもルカは調査を行ったと公言していたからです。現在私たちが主の食卓の前に読む文章を持ち出す批判家もいます。ルカは、イエス様は弟子たちと共にぶどう酒を飲み、パンをさき、そして最後にもう一度ぶどう酒を飲んだと記しています。批判家たちは、ルカは主の食卓に関して相反する説明をしていると強く主張しています。事実は、ルカは念入りに調べ、そして何が起きたかを正確に把握していました。最初のぶどう酒は過ぎ越しの祭りの食事の始まりのときのもので、2回目のぶどう酒は主の食卓のためのものでした。

聖歌 307

祈り お父様。主の食卓のときに覚える復活の主に感謝いたします。
イエス様の御名によって。アーメン。

マイケル・モス

ウエストバージニア州 ヴィエナ

今日の力

2016年4月25日～5月1日

翻訳 阿部やよい

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

4月26日(火)

神の子どもとされる特権

聖書朗読 ヨハネ 1:1~13

私たちが神の子どもと呼ばれるために、——事実、いま私たちは神の子どもです——
御父はどんなにすばらしい愛を与えてくださったことでしょう。 I ヨハネ 3:1

ヨハネの福音書1章を読むと、残念な気持ちにも、心躍る気持ちにもなります。創造主であり、メシアでもあるイエス様は、人々が期待するようなことをしたわけでもなく、彼を拒絶する者または彼を信じる者が期待したような圧倒的な力を見せることはありませんでした。

イエス様は神、神のなさること、神の命令に関する当時の人が持っていた先入観を見直すよう奮闘しました。悲しいことに、イエス様の教えは人々の習慣、今後の計画、ライフスタイルには合いませんでした。人々はイエス様を拒絶し、そして命を奪いました。

一方、イエス様の名を信じた人々は、神によって生まれるという招きを受け入れました。イエス様が当時の人々の習慣、今後の計画、ライフスタイルとは対照的な真理と生ける神を彼らに明かしたとき、彼らは神に喜ばれる態度、振る舞いを受け入れ、育てるため、もともと与えられていた特権や、昔からの習慣を捨てることに苦しみ悩みました。彼らは、恵み深い神は時に大きな犠牲を伴う服従を人に望まれるときがあることを学びました。

イエス様の名を信じる者として、私たちもまた今、聖書の中のみ言葉によって試されます。真理を、生ける神を知れば知るほど、私たちは今まで大切にしていた、でも神の御心に沿わない考えや態度、振る舞いをやめるよう求められていることを知ります。どれほど大きな犠牲を払おうとも、私たちが神に従うことを選んだとき、私たちは神の子どもとなることを選んだことになります。

讃美歌 467

祈り 情け深いお父様。イエス様により近づくため、どんな困難が待っていようと喜んで自身の生活を変えることができるようお導きください。
イエス様の御名によって。アーメン。

バーディ・A・ニーマン
コロラド州 ニューキャッスル

4月27日(水)

キリストの証人となる

聖書朗読 ヨハネ 1:6~9

神はこのイエスをよみがえらせました。私たちはみな、そのことの証人です。
使徒 2:32

私は一度だけ証人として裁判に呼ばれたことがあります。私はひどく緊張していました。裁判官に右手を上げるように言われるやいなや私が左手を上げてしまったときには、私がどれだけ緊張しているかを法廷にいる誰もがわかったことでしょう。その日、私は真実を述べたと信じていますが、説得力があったとは思いませんでした。

それ以来、私は二度と証人としてよばれることがないように願っています。しかし、ヨハネの福音書1:6~9によると、ヨハネが与えられた任務は、人々がイエス・キリストを受け入れられるよう世を整えるため、証人となることでした。ヨハネがこの任務にしり込みしたり、その責任の大きさにナーバスになったりしたのかは私には分かりませんが、聖書読むと主イエス・キリストについてのみ言葉を人々に告げ知らせるときのヨハネは、力強く、はっきりと率直に話していたことが分かります。そしてヨハネは神から与えられたと信じている真理を述べ伝えることに彼の全てを捧げました。

私たちもまた、自身の信仰ゆえに迫害を受けることはないという保障はありません。黙示録6:9では、進んでイエス・キリストの証人となったことで血を流したクリスチャンについて記されています。私たちもまた、恐怖を乗り越え、神の力によっていつのときも良い知らせを正しく述べ伝えられることができますように。

讃美歌 第二編 36

祈り ご在天のお父様。私たちから恐怖を取り除き、イエス・キリストについて人々に述べ伝えられるよう私を強めてください。慈しみの心と勇気をもってあなた様の真理を広めることができますように。

イエス様の御名によって。アーメン。

ロバート・P・リー
コロラド州 オーロラ

4月28日(木)

来て、見てください！

聖書朗読 ヨハネ 4:39～42

主は、私たちの成り立ちを知り、私たちがちりにすぎないことを心に留めておられる。
詩篇 103:14

彼女は水を汲みに来ていました。イエス様は、サマリア人の彼女に話しかけるというタブーを犯したことで彼女を驚かせました。イエス様が彼女を良く知っていたとわかるのにさほど時間はかかりませんでした。イエス様との会話で、彼女の人生には彼女が持っている水がめと同じくらい何も入っていないことがわかりました。彼女は自分のことよりも、神への信仰について話をもっていこうとしましたが、イエス様はその二つを分けませんでした。なによりも、イエス様は昔からある議論に勝つことより、新しい弟子を獲得することに興味があったのです。そして、最後にイエス様は新たな弟子を獲得したのです。彼女は空の水がめを残して、泣きながら走って街に戻り「私がしたこと全部を私に言った」あの方に会いに行ってくださいと言いました。

彼女の言った言葉を聞いてあなたは不思議に思いませんか？ もしあなたが、あなたのことを全て知っているという人に会ったら、知り合いにもその人にあって欲しいと思いますか？ もしあなたは知らないけれど、その人はあなたのことを知っているという人にモールであったらと想像してみてください。どちらかというあなたに隠しておきたいと思いませんか？ あなたの友達を呼んでその人に合わせたいと思いますか？ でも、この女性はそうしたのです。なぜでしょうか？ それは、彼女の過ちをイエス様はすぐに見抜いたのにもかかわらず、それでもイエス様は彼女を愛されたからです。イエス様からのような愛を彼女が感じたのはどれくらい久しぶりのことだったでしょう。彼女は間違いなく最適な伝道者となりましたが、イエス様の愛なくしてはなりえなかったでしょう。私がしたこと全部を私に言ったあの方に会いに行ってください。そしてその方はそれでも私を愛してくださいます！

讃美歌 517

祈り 親愛なる主。あなた様なしでは、私の人生は本当に空っぽです。周りの人にあるあなた様からの恵みを述べ伝えられるよう、あなた様の愛に対して心を開いていられるようお助けください。

ディビッド・ランフォード
テキサス州 ラボック

4月29日(金)

従うことで得られる喜び

聖書朗読 ヨハネ 8:27～32

わたしを遣わした方はわたしとともにおられます。わたしをひとり残されることはありません。わたしがいつも、そのみこころにかなうことを行うからです。

ヨハネ 8:29

「従う」ことは親子間で良い関係を築く上でとても大切なことです。私たちが神を信じ、神に従うとき、私たちの神との関係の中に喜びが生まれます。子どもが親を信じ、尊敬し、従うなら、親子間の絆が生まれ、親と子の両方に喜びが与えられます。イエス様は、神と神の人々との間も同じであるといっています。——神を喜ばせるということは、信じて疑わず神に対して従順であれば、そのことが神を喜ばし、そしてそのことで私たちもまた喜びを感じるということです。親と子の絆は、子どもが成長するあらゆる場面で子どもを励まし、そしてサポートしていく中で築かれていきます。そして子どもはその親の働きに応えます。これは神と神の子においても同じです。神の愛への応答である従順は、信じる者、そしてその父にとって喜びとなります。

創世記から黙示録まで、聖書は神、神の子と従順について記しています。『そのことによって、私たちが神の子どもたちを愛していることがわかります。神を愛するとは、神の命令を守ることです。その命令は重荷とはなりません。』（Iヨハネ 5:2～3）

讃美歌 第二編 173

祈り 親愛なる主。あなた様の命令に従います。そしてそのことであなた様に喜んでいただくという喜びが得られます。あなたの愛を喜んでいられますように。
イエス様の御名によって。アーメン。

コニー・シンプキン・トーマス
ケンタッキー州 マウントワシントン

4月30日(土)

祝 福 さ れ た 弁 明

聖書朗読 ヨハネ 8:48～53

むしろ、心の中でキリストを主としてあがめなさい。そして、あなたがたのうちにある希望について説明を求める人には、だれにでもいつでも弁明できる用意していなさい。
I ペテロ 3:15

穏やかな朝食の場が一転して激しい議論の場となりました。聖書は拒絶され、信じる者は批判的だとの攻めを受けました。

イエス様は、自身が御父の御許から来たということを弁明しているとき、イエス様はご自身が同じ状況であることに気がつきました。ユダヤ人たちはイエス様に『あなたは、自分自身をだれだと言うのですか?』(53節)と問いました。

私たちが神のみ言葉について立場を明確にし、それに従って生きようとする、私たちもまた非難されることがあります。聖書では、それに備えておくべきだと言っています。イエス様は『わたしのために人々があなたがたをののしり、迫害し、ありもしないことで悪口を浴びせるとき、あなたがたは幸いです。』(マタイ 5:1)。自分自身をだれだと思うのかではなく、神は私たちが誰かを知っておられる、これが本当に重要なことです。

神がみ言葉のためのドアを開けてくださっているとき、『外部の人に対して賢明にふるまい、機会を十分にいかして用いなさい』(コロサイ 4:5)。このためにあらゆる努力をしましょう。愛をもって神の真理を語りましょう。

讃美歌 502

祈り お父様。人に言われた言葉で傷つくときがあります。怒りを覚えても、自制心を失わない強さを私にお与えください。私の言動のせいで福音の扉が決して閉まることはありませんように。私たちの愛をもって私たちがクリスチャンであることを示すことができますように。

イエス様の御名によって。アーメン。

キャロル・ロッジス
コロラド州 プエブロ

5月1日(日)

目 が 見 え な く て も

聖書朗読 ヨハネ 9:1～12

わたしの力は、弱さのうちに完全に現れるからである。 II コリント 12:9

ファニー・J・クロスビー(1820-1915)は幼少期に医療過誤で視力を失いました。しかし、神は彼女に素晴らしい作曲の才能をお与えになられ、彼女は生涯で「われは主のものなれば」、「十字架の影に」、「罪の淵におちいりて」、「ああうれしわが身も」を含む9000曲以上もの賛美歌を作曲しました。神は障害のある小柄な女性を通して私たちの心を毎週祝福してくださっておられます!

イエス様の弟子たちは当時皆が信じていた「その人が罪を犯したゆえに苦しみにあう」という教えを信じていました。しかし、ヨハネの福音書9章では、イエス様は盲人を癒し、神の栄光を表すことで弟子たちに正しい教えをお与えになりました。

イエス様は今でも私たちの霊的な盲目を癒してくださっています。神は暗黒の闇の中、悲惨な状況の中で最も輝いている一条の光です。私たちが最悪な状況の中にいるとき、神は最強の味方です。

ファニー・J・クロスビーの思いは・・・

我が魂は喜びに震える
目が見えなくとも
私はそれでよい
私は満ち足りているから

讃美歌 529

祈り 親愛なる主。たとえ暗黒の闇の中でも、あなた様の恵みと栄光を見ることができるようお導きください。

イエス様の御名によって。アーメン。

エドワード・J・ロビンソン
テキサス州 テレル